

## 第2回 戸塚区品濃町最終処分場技術検討委員会議事録

- 日時** 平成18年8月3日(木)午前10時から正午まで
- 開催場所** 松村ビル別館 2階201会議室
- 出席者** (委員)  
中杉委員、猿田委員、相澤委員、今泉委員、野馬委員、松藤委員、八木委員  
(オブザーバー) 環境省関東地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課 林課長  
(横浜市)  
資源循環局長、適正処理部長、産業廃棄物対策担当部長、施設課技術担当部長、施設課長、  
産業廃棄物対策課長、適正処理監視指導担当課長、他事務局4名  
計11名
- 開催形態** 公開 (傍聴者 9人)
- 議事**
- 第1回委員会における課題の整理について  
第1期埋立地の浸出液水位を今後確認するとともに汚水の経路を把握することとした。
  - 整備計画(技術検討)に向けての考え方  
措置命令の範囲で、支障を除去するための必要な限度の改善工事を行うこととした。
  - その他  
技術検討委員会公開・傍聴規定の改訂について了承された。
- (主な質疑・意見等)
- 浸出液の多くはシート内に溜まっている状況である。
  - 今後、水位・水量の観測結果を精査していく。
  - 浸出液の経路について調査すべき。
  - アスベストの状況はどうなっているのか。  
→法改正前の昭和62年から平成4年に埋め立てられたと推測され、表層から6メートルよりも下の深いところに埋まっている。
  - 整備計画策定に向けて、生活環境の影響をなくすような支障除去を検討すべき。
  - 廃棄物表層付近の分析を行ったほうがよい。
  - 浸出液の扱い方について、JRトンネルの位置づけを整理すべき。
- 報告事項**
- 第1回委員会議事録について
  - ボーリング調査の内容と進捗状況について
  - 第1回委員会以降の水質測定結果について
  - 応急対策について
  - 戸塚区品濃町処分場検証委員会の開催状況について
- 資料**
- 「第1回戸塚区品濃町最終処分場技術検討委員会」における課題
  - 整備計画策定(技術検討)に向けての考え方
  - 戸塚区品濃町最終処分場技術検討委員会の会議の公開・傍聴規定(改訂案)
  - 戸塚区品濃町最終処分場技術検討委員会議事録
  - ボーリング調査の内容と進捗
  - 第1回委員会以降の水質測定結果
  - 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会の概要